



## 倉敷市生物多様性地域戦略

倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを  
未来へつなぐために



倉 敷 市



## はじめに



瀬戸内海と山の幸満載の“まつり寿司”や“ばら寿司”、くだもの王国おかやまを支える“マスカット”や“白桃”、真備の“タケノコ”や船穂の“ふな飯”、そして、備中杜氏が醸す“地酒”や“味噌・醤油”。これらはすべて、倉敷市の地域が育んだ自然の恵みと言えるでしょう。

倉敷市は、母なる大河、高梁川と、周囲に広がる里地、里山、そして瀬戸内海など多種多様な生態系を有し、国内でも希少な生き物が生息するなど豊かな自然を有しています。

伝統的な町家が並ぶ美観地区や瀬戸内海国立公園に位置する鷺羽山などの観光資源、そして、国内有数の規模を誇る水島コンビナートなど、倉敷の歴史、文化、産業は、この自然により育まれてきました。今日、倉敷市が、産業と自然環境が高度にバランスのとれた全国的に見ても極めてまれな多機能融合型の地方都市として成立しているのも自然とそこから生み出された生物多様性の恵みの賜物なのです。

倉敷市では、自然保護や自然環境保全について、条例制定や市民団体の設立など全国的にも早い時期から民・学・官協働で取り組んできた歴史があり、市立としては数少ない自然史博物館の設置と運営にも市民の力が大きくかかわってきました。

一方で、自然環境の損失は、地球上に広がっており、本市においても、在来種の減少、外来生物の移入や獣害の増加、また、近年の人と自然との関わり方の変化など生物多様性の保全を取り巻く課題は時代とともに変化、多様化しており、危機的状況を迎えていると言っても過言ではありません。

これらの課題を解決し、倉敷の豊かな自然と瀬戸内の恵みを未来へつなぐためには、行政だけでなく、市民、生産者、企業、教育機関など多様な主体が協働で取り組むことが必要不可欠であり、そのための計画として、生物多様性基本法に基づく『倉敷市生物多様性地域戦略』を策定しました。

最後に、本戦略策定にあたり、積極的かつ熱心にご検討を頂きました、「生物多様性地域戦略策定委員会」及び「倉敷市環境審議会」の各委員を始め、計画策定にご尽力を頂きました皆様に心から感謝申し上げます。

平成26年3月

倉敷市長 伊東 香織



## 目次

### 第1章 なぜ、生物多様性が必要なのか

1. 倉敷市生物多様性地域戦略を策定する必要性	1
(1) 温暖な気候と多様な自然環境	1
(2) 豊かな自然環境に育まれた多機能融合型の都市	1
(3) 自然環境の劣化と保護、新たな課題	3
(4) 地域の生物多様性をまもり、生物多様性の恵みを未来の世代へ引き継ぐために	3
2. 生物多様性とは	4
3. 生物多様性の重要性	6
4. 生物多様性の危機	7

### 第2章 生物多様性地域戦略策定にあたって

1. 地域戦略策定の背景	8
(1) 生物多様性に関する世界の動き	8
(2) 生物多様性に関する国内の動き	8
2. 地域戦略の対象地域及び位置づけ	9
(1) 戦略の対象地域	9
(2) 戦略の位置づけ	9

### 第3章 倉敷市の生物多様性の現状と課題

1. 倉敷の環境基盤の概要	10
(1) 位置と気象	11
(2) 地形・地質	12
(3) 水系	14
(4) 海岸・海域	15
(5) 森・山	18
(6) 土地利用	19
(7) 産業	21
2. 倉敷の生き物と生態系の特筆される特徴	22
(1) 「市木・市花・市の鳥」	22
(2) 市内に生息する生きものたち	22
(3) 地域ごとの自然環境とその特徴	52
3. 市民アンケート	68
(1) 生物多様性の認知度	68
(2) 身近な生き物とふれあうことが出来る場所の必要性	68
(3) 倉敷市の自然環境の現状について	69
(4) 倉敷市の保全すべき自然環境について	69

## 目次

4. 自然環境保全・土地利用規制等規制	70
(1) 倉敷市の自然環境保全の経緯	70
(2) 自然保護関係法令による規制・指定状況	70
(3) その他の法令等による規制・指定状況	71
5. 倉敷市の生物多様性保全における課題	74
(1) 地域の環境基盤、土地利用・産業における問題・課題	74
(2) 特筆すべき生き物(希少野生生物や外来生物)や地域特性に係る問題・課題	76
(3) 自然との触れ合いや環境教育の課題	76
(4) その他	76

### 第4章 戦略の目指す将来像と目標

1. 倉敷の目指す将来像	79
2. 生態系ごとの将来像	79
3. 戦略の基本目標	83
4. 目標期間の設定と目標	85

### 第5章 行動計画

1. 基本的な取組みの方向性	86
2. 取組みの体系	87
3. 具体的な取組み	88
(1) リーディングプロジェクト	90
(2) 短期目標達成に向けた具体的な取組み	94
4. 数値目標	102

### 第6章 戦略の推進体制・進行管理

1. 推進組織	103
2. 各主体に期待される役割	103
3. 連携・協働	104

### 第7章 戦略策定の経緯等

1. 戦略策定の経緯	105
2. 倉敷市生物多様性地域戦略策定委員会	106
3. 市民懇談会	107

### 資料編

1. 用語集	
--------	--

## コラム一覧

1	日本の重要湿地500	1
2	備中杜氏	2
3	なぜ、生物多様性が必要なの？	3
4	これまでの自然保護と生物多様性保全はどこが違うのか？	5
5	世界の生物多様性の恵みに支えられる日本	6
6	高梁川ってどんな川？	15
7	生態系	25
8	鎮守の森（社寺林）	28
9	獣による農業・漁業被害について	29
10	倉敷の探鳥コースについて	30
11	倉敷の宝 ～淡水魚スイゲンゼニタナゴ～	35
12	生物多様性に配慮した工事・開発の取り組み	36
13	倉敷市立自然史博物館のココがすごい！	37
14	用水のはなし	39
15	岡山県の実と漁業の特徴	43
16	メダカとカダヤシ どうやって見分ける！？	45
17	『倉敷の自然』シリーズ	46
18	意外と知らない！？ ため池のはなし	49
19	倉敷の海ごみ問題	75
20	高梁川流域のつながり	78
21	栗山のある学び舎、粒江小学校の環境教育の取り組み	84